

死刑の執行停止を要請いたします

法務大臣 千葉景子 殿

法務大臣就任おめでとうございます。日頃からの人権問題への真摯な取り組みに深い敬意を表します。また、先日の法相就任記者会見にて、死刑制度について、「人の命ということになりますので、慎重に取り扱っていきたい」「広い国民的な議論を踏まえて、これから私たちが行く道を見いだしていきたい」と述べられましたことに、心から賛同の意を表明いたします。

死刑制度は生きる権利を奪う、取り返しのつかない、残虐で非人道的な刑罰です。現在世界の70%以上の国・地域が死刑執行を行っておらず、国連総会は、2007年、2008年と2年連続で、死刑執行の一時停止を求める決議を採択し、国連のすべての加盟国に死刑執行の停止を強く求めています。

また、日本の刑事司法は、代用監獄や捜査取調べ中の自白強要など、国際人権基準に合致しない、人権侵害と冤罪の温床となっております。現在、「足利事件」の再審開始が決まり、昨年10月に死刑執行された「飯塚事件」の久間三千年さんの死後再審の動きも進められております。

これまで頑なに貫かれてきた死刑執行を再考し、死刑執行を停止するよう要請いたします。そして、死刑の廃止を視野に入れた、死刑制度に関する幅広い議論を国会内外で開始することに、力を注いで下さるよう要請いたします。

氏名：
